

令和 2 年度（2020年度）札幌市交通事業 決算の概要

軌道整備事業会計

- 1 決算総括表 1 頁
- 2 業務量 2 頁
- 3 主要事業の概要 3, 4 頁
- 4 過去 5 年間の傾向 5 頁

高速電車事業会計

- 1 決算総括表 6 頁
- 2 業務量 7 頁
- 3 主要事業の概要 8, 9 頁
- 4 過去 5 年間の傾向 10 頁

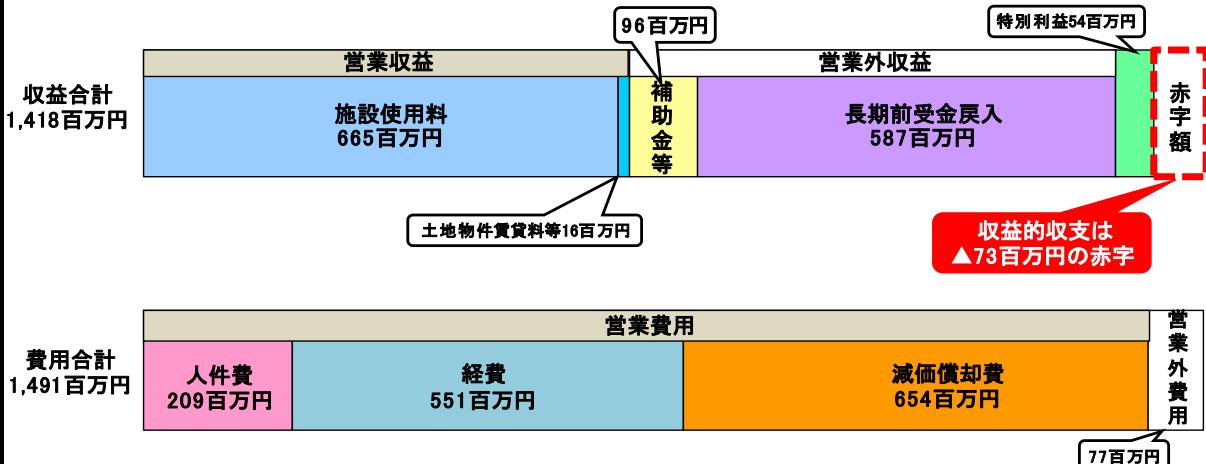
軌道整備事業会計

1 決算総括表

(軌道整備事業会計)

項目		元年度 (2019年) 決算	2年度予算 (2020年) (補正後)	2年度 (2020年) 決算	差引 (2決-1元)	差引 (2決-2予)
収入的収支	営業収益 (施設使用料収入等)	1,467	538	681	△ 786	143
	営業外収益 (補助金等)	531	674	683	152	9
	経常収益計(A)	1,998	1,212	1,364	△ 634	152
	特別利益	2	48	54	52	6
	収益合計(B)	2,000	1,260	1,418	△ 582	158
	営業費用 (人件費・経費等)	1,997	1,509	1,414	△ 583	△ 95
	営業外費用 (支払利息・消費税等)	47	77	77	30	0
	予備費	0	5	0	0	△ 5
	経常費用計(C)	2,044	1,591	1,491	△ 553	△ 100
	特別損失	10	0	0	△ 10	0
資本的収支	費用合計(D)	2,054	1,591	1,491	△ 563	△ 100
	経常損益(A)-(C)	△ 46	△ 379	△ 127	△ 81	252
	収益的収支差引(B)-(D)	△ 54	△ 331	△ 73	△ 19	258
資本的収支	資本的収入 (企業債・負担金等)	1,762	2,610	1,533	△ 229	△ 1,077
	資本的支出 (建設改良費等)	1,921	2,699	1,636	△ 285	△ 1,063
	資本的収支差引	△ 159	△ 89	△ 103	56	△ 14
当年度分損益勘定留保資金等 (減価償却費・長期前受金戻入等)		134	137	128	△ 6	△ 9
当年度分資金過不足額		△ 79	△ 283	△ 48	31	235
過年度分資金過不足額		363	284	284	△ 79	0
累積資金過不足額 (資金残)		284	1	236	△ 48	235

●収益的収支 (金額は消費税込)



●資本的収支 (金額は消費税込)



2 業務量

(軌道整備事業会計)

区分	2年度 A	元年度 B	比較	
			増減 $A - B = C$	増減率 (%) C / B
営業キロ数	km 8.9	km 8.9	km 0.0	0.0
在籍車両数	両 37	両 36	両 1	2.8

3 主要事業

(軌道整備事業会計)

(单位：千円)

項目	元年度決算A	2年度予算B	2年度決算C	差引(C-A)	差引(B-C)	主な事業について	
						<車両基地改良、電力設備増強関連事業> 369百万円	
建設改良費	1,768,294	2,522,000	1,470,270	△298,024	1,051,730	○電車事業所改良建築工事・・・・・・ 82百万円 ○六条変電所新設工事・・・・・・ 287百万円	
同上財源内訳	企業債	295,000	191,900	132,000	△163,000	59,900	<車両関係> 548百万円 ○低床車両製造(R元～R2：2両、R2～R3：2両)・・ 548百万円
	国庫補助金	0	40,600	38,708	38,708	1,892	<軌道更新・制振軌道化・街路拡幅関連事業> 382百万円 ○軌道更新事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 21百万円 ○制振軌道化事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 189百万円 ○街路拡幅事業に伴う軌道改良工事・電気設備工事・・ 172百万円
	一般会計補助金	7,900	24,500	23,469	15,569	1,031	<停留場の改良> 94百万円 ○既設線停留場改良・・ 94百万円
	負担金	1,459,303	2,265,000	1,251,371	△207,932	1,013,629	<その他> 21百万円 ○情報利活用システム行先別放送改良・・ 21百万円
	その他	6,091	0	24,722	18,631	△24,722	

軌道整備事業会計

3 主要事業(イメージ図)

【六条変電所新設工事】

【概要】

ループ化や低床車両の導入による、電力負荷の増大や変電所のトラブルに対応するため、六条変電所を新設し計2か所による変電所体制とした。

建築概要

項目	仕様
建設地	中) 南6西15
敷地面積	248.15m ²
構造	R C 造
規模	地上 2 階建て
建築面積	162.00 m ²
延床面積	335.055 m ²

変電設備諸元	
項目	仕様
受電電圧	交流6,600V
送電電圧	直流600V
整流器	種類 沸騰冷却式シリコン整流器
	個数 常用1台/予備1台
	容量 1,500kw (D種定格)
	電圧 600V
	相 2重3相ブリッジ (12相整流)
整流器用変圧器	周波数 50Hz
	種類 モールド式乾式自冷変圧器
	個数 常用1台/予備1台
	容量 1,630KVA/840KVA×2
	電圧 1次 : 6,600V
	2次 : 2×473V
	相 並列12相
	周波数 50Hz

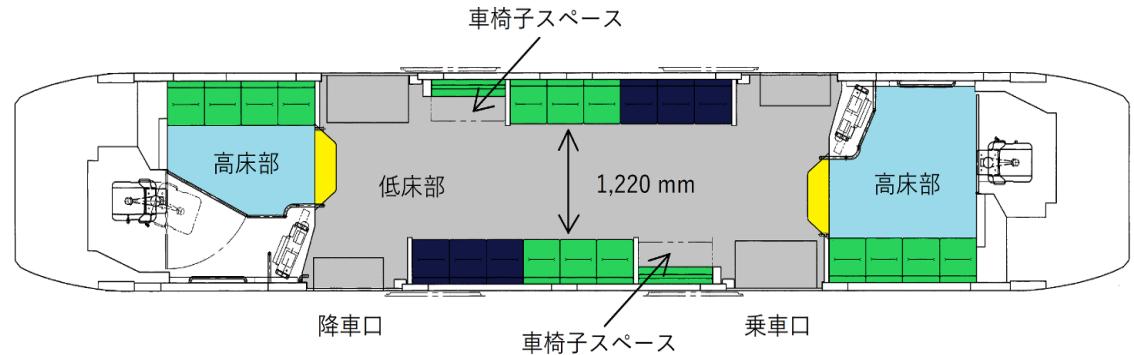


※令和3年4月稼働

【低床車両製造】

【低床車両1100形(シリウス)】

- 定員:60名(座席24)
- 単車タイプのバリアフリー対応低床車両
- 通路幅を広く確保し、乗車口から降車口まで段差や傾斜の無い構造
- 全席にロングシートを採用し、車椅子スペースを2か所設置

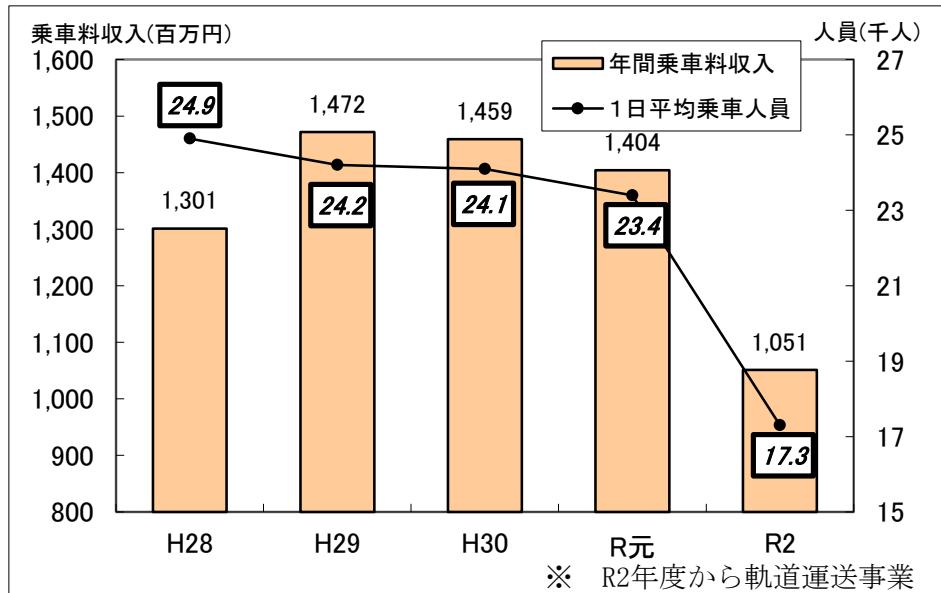


新型低床車両1100形(シリウス)

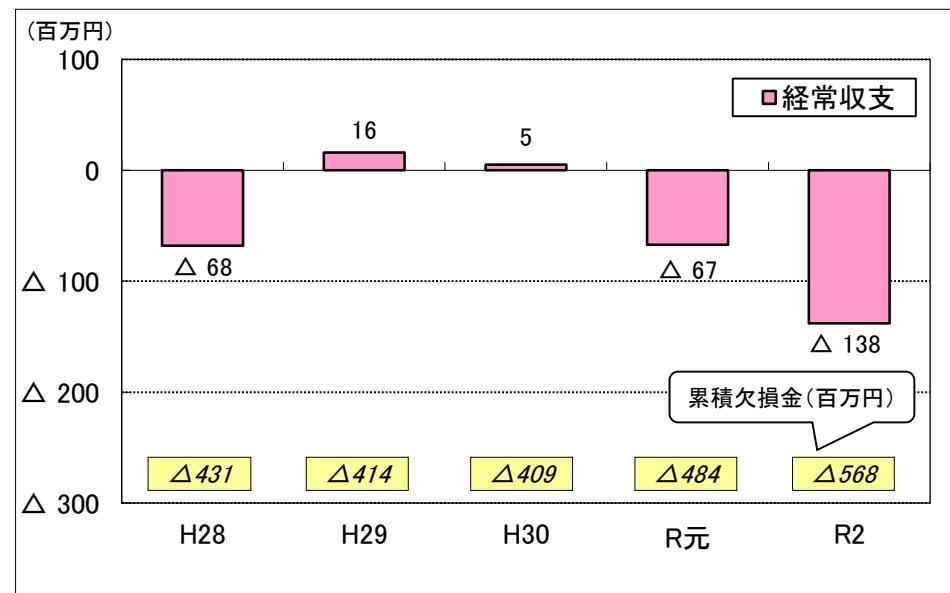


4 過去5年間の傾向

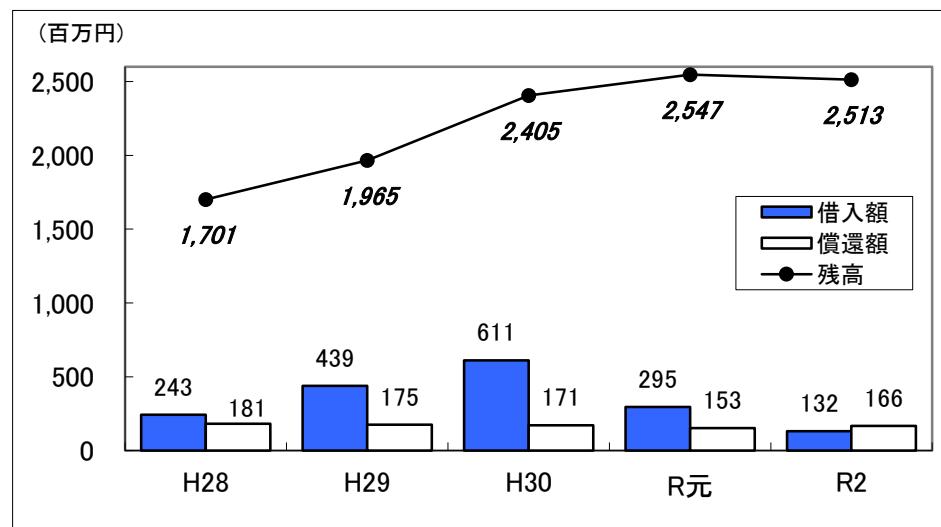
(1) (参考) 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



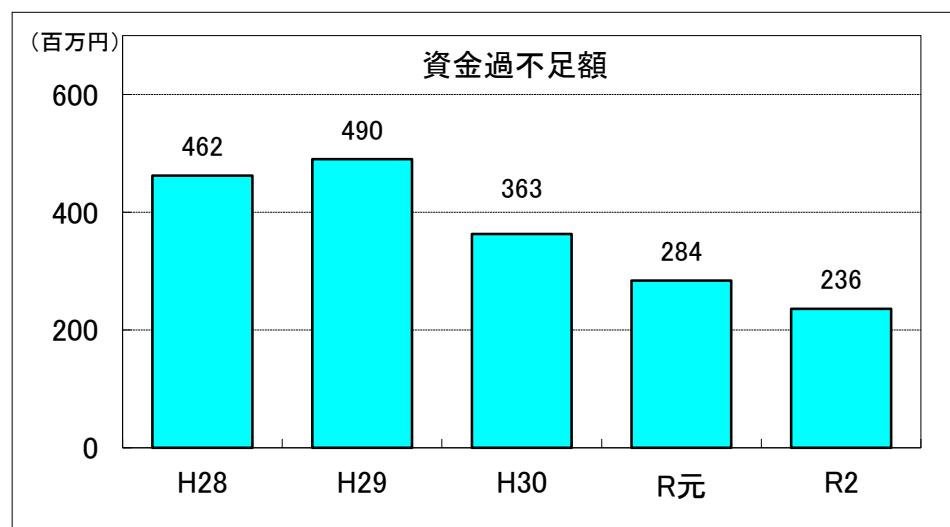
(2) 経常収支及び累積欠損金(税抜)



(3) 企業債(借入額・償還額・残高)



(4) 資金の状況



高速電車事業会計

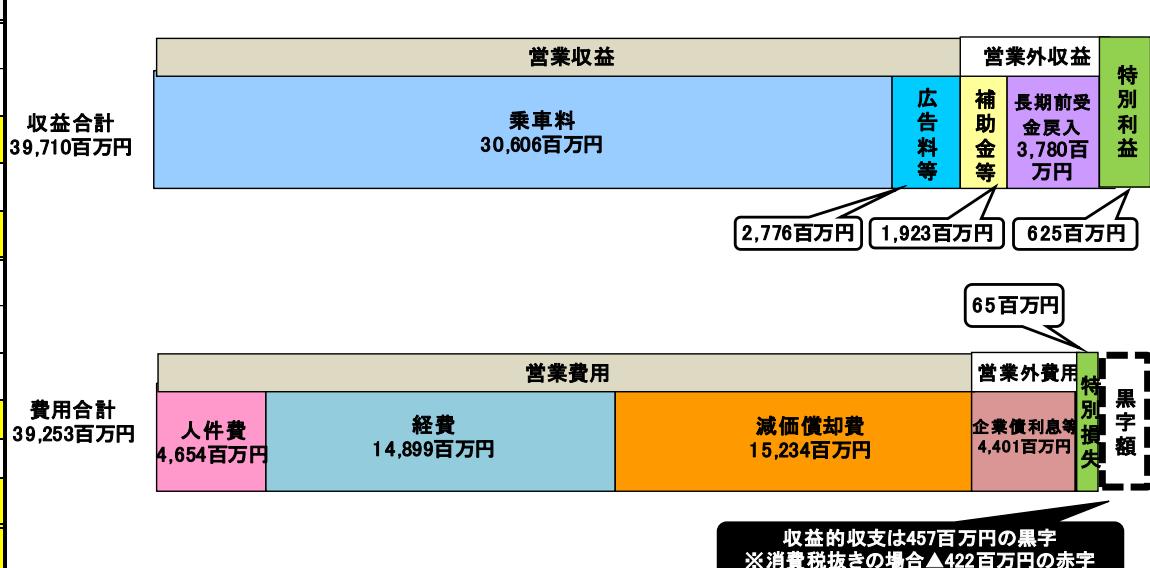
1 決算総括表

(高速電車事業会計)

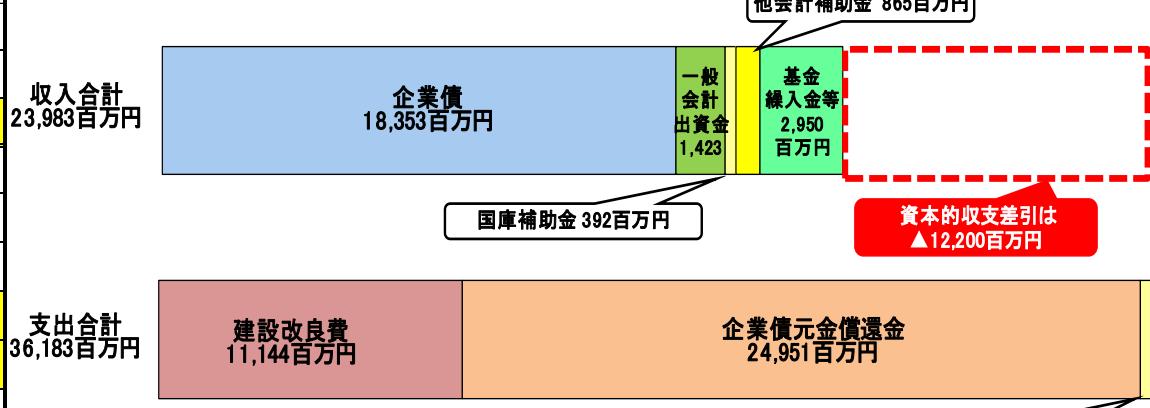
(単位:百万円、税込)

項目		元年度 (2019年) 決算	2年度予算 (2020年) (補正後)	2年度 (2020年) 決算	差引 (2決-元決)	差引 (2決-2予)
収入	営業収益 (乗車料・広告料等)	44,519	33,092	33,382	△ 11,137	290
	営業外収益 (補助金等)	5,872	5,677	5,703	△ 169	26
	経常収益計(A)	50,391	38,769	39,085	△ 11,306	316
	特別利益	0	593	625	625	32
	収益合計(B)	50,391	39,362	39,710	△ 10,681	348
	営業費用 (人件費・経費等)	35,356	37,105	34,787	△ 569	△ 2,318
	営業外費用 (支払利息・消費税等)	5,561	4,401	4,401	△ 1,160	0
	予備費	0	40	0	0	△ 40
	経常費用計(C)	40,917	41,546	39,188	△ 1,729	△ 2,358
	特別損失	64	216	65	1	△ 151
支出	費用合計(D)	40,981	41,762	39,253	△ 1,728	△ 2,509
	経常損益(A)-(C)	9,474	△ 2,777	△ 103	△ 9,577	2,674
	収益的収支差引(B)-(D)	9,410	△ 2,400	457	△ 8,953	2,857
	資本的収入 (企業債・負担金等)	15,223	25,657	23,983	8,760	△ 1,674
	うち特別減収対策企業債	0	7,827	9,400	9,400	1,573
資本的収支	資本的支出 (建設改良費等)	36,262	39,505	36,183	△ 79	△ 3,322
	資本的収支差引	△ 21,039	△ 13,848	△ 12,200	8,839	1,648
	当年度分損益勘定留保資金等 (減価償却費・長期前受金戻入等)	12,356	12,314	11,838	△ 518	△ 476
	当年度分資金過不足額	727	△ 3,934	95	△ 632	4,029
	過年度分資金過不足額	807	1,534	1,534	727	0
	総計 (※地財法)	1,534	△ 10,227	△ 7,771	△ 9,305	2,456
	総計 (※健全化法)	1,534	△ 2,400	1,629	95	4,029
	特別減収対策企業債 (収益的収支不足分)	0	2,400	0	0	△ 2,400
	再計 (健全化法)	1,534	0	1,629	95	1,629

●収益的収支 (金額は消費税込)



●資本的収支 (金額は消費税込)



※地財法…資金不足額の算定に当たり、特別減収対策企業債(9,400百万円)を収入に含めない
※健全化法…資金不足額の算定に当たり、特別減収対策企業債(9,400百万円)を収入に含める

2 業務量

(高速電車事業会計)

区分	2年度 A	元年度 B	比較	
			増減△ $A - B = C$	増減率(%) C / B
営業キロ数	km 48.0	km 48.0	km 0.0	0.0
在籍車両数	両 368	両 368	両 0	0.0
走行キロ数	km 33,598,616	km 33,706,921	km △ 108,305	△ 0.3
輸送人員	年間	人 162,823,061	人 226,909,439	人 △ 64,086,378
	一日平均	人 446,091	人 619,971	人 △ 173,880
乗車料	千円 30,605,908	千円 41,464,862	千円 △ 10,858,954	△ 26.2

3 主要事業

(高速電車事業会計)

(単位:千円)

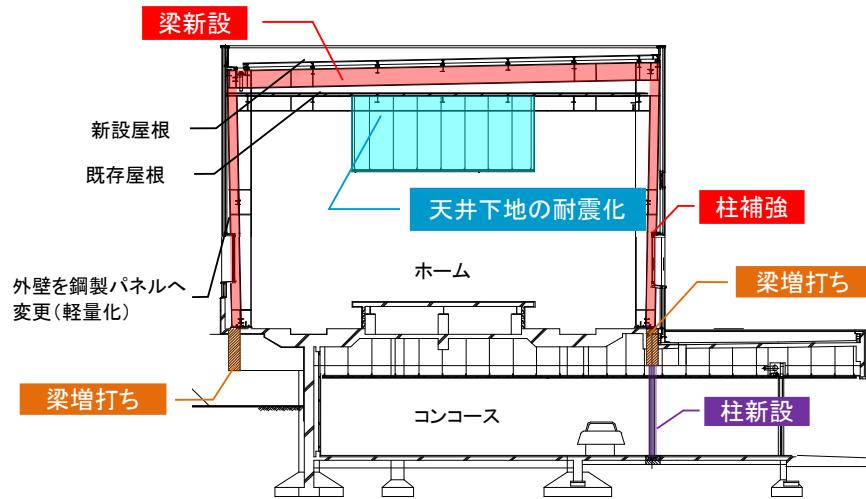
項目	元年度 決算A	2年度 予算B	2年度 決算C	差引(C-A)	差引(B-C)	主な事業について
建設改良費	9,880,730	14,443,245	11,143,565	1,262,835	3,299,680	<p><老朽化施設の改修等> 総額 10,758百万円</p> <p>駅舎施設設備の改修 総額 5,724百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○真駒内駅耐震改修工事……………1,831百万円 ○東西線防災集中監視装置更新……………569百万円 ○自動出改札等更新工事……………461百万円 ○エスカレーター更新工事……………395百万円 <p>➢北34条駅、真駒内駅、西18丁目駅（工事）</p> <p>➢菊水駅、南郷18丁目駅、大谷地駅（実施設計）</p> <p>○南北線排煙制御装置……………368百万円</p> <p>○AFC機器更新……………295百万円</p> <p>○エレベーター更新工事……………189百万円</p> <p>➢月寒中央駅、南平岸駅、豊平公園駅、西28丁目駅（工事）</p> <p>➢西18丁目駅、ひばりが丘駅、発寒南駅（実施設計）</p>
同 企 業 債	6,889,000	10,960,000	8,186,000	1,297,000	2,774,000	
上 一般会計 出資金	1,966,000	1,788,000	1,423,000	△543,000	365,000	<p>電力・通信施設設備の改修 総額 3,103百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南郷変電所更新工事……………825百万円 ○CTC装置更新工事……………541百万円 ○東豊線駅電気室（栄町駅～豊水すすきの駅）CVCF更新……………412百万円 ○東西線電気室更新工事（南郷・大谷地）……………225百万円 ○設備指令システムサーバー更新……………219百万円
財 国庫補助金	324,401	452,491	392,340	67,939	60,151	<p>車両・工場機器設備の改修 総額 1,931百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南北線5000形、東西線8000形車両車内表示器更新（多言語対応）……………240百万円 ○東西線8000形ATC/ATO制御装置更新……………222百万円
源 一般会計 補助金	310,729	321,199	305,642	△5,087	15,557	<p><その他> 総額 385百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅客用トイレ改良工事……………254百万円 <p>➢南北線大通駅、東豊線さっぽろ駅、福住駅（工事）</p> <p>➢すすきの駅、東西線大通駅、円山公園駅（実施設計）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入金機更新（多言語対応）……………69百万円 ○吊り下げ電照標識改修工事（東西線大通駅）（多言語対応）……………33百万円 ○ホーム案内板の更新（多言語対応）……………29百万円
訳 そ の 他	390,600	921,555	836,583	445,983	84,972	

高速電車事業会計

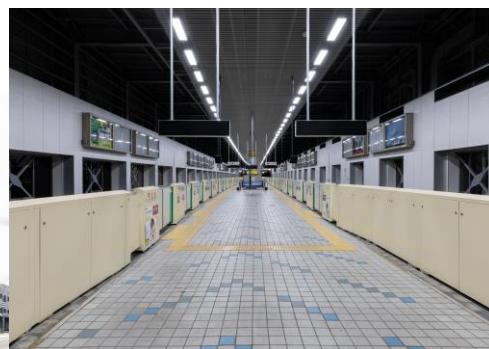
3 主要事業(イメージ図)

【真駒内駅耐震改修工事】

【主な改修内容】



【改修後 外壁】



【改修後 ホーム】

【ホーム案内板更新】



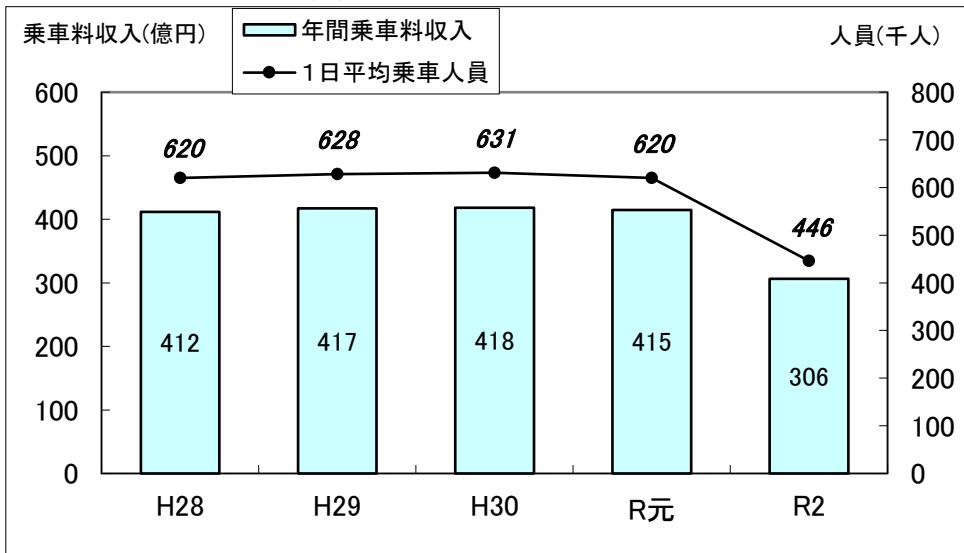
改修前



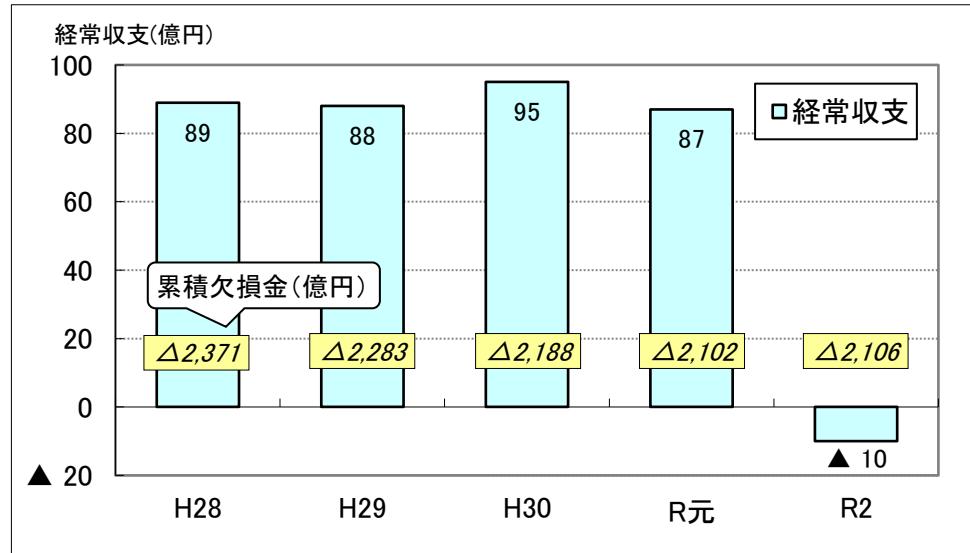
改修後

4 過去5年間の傾向

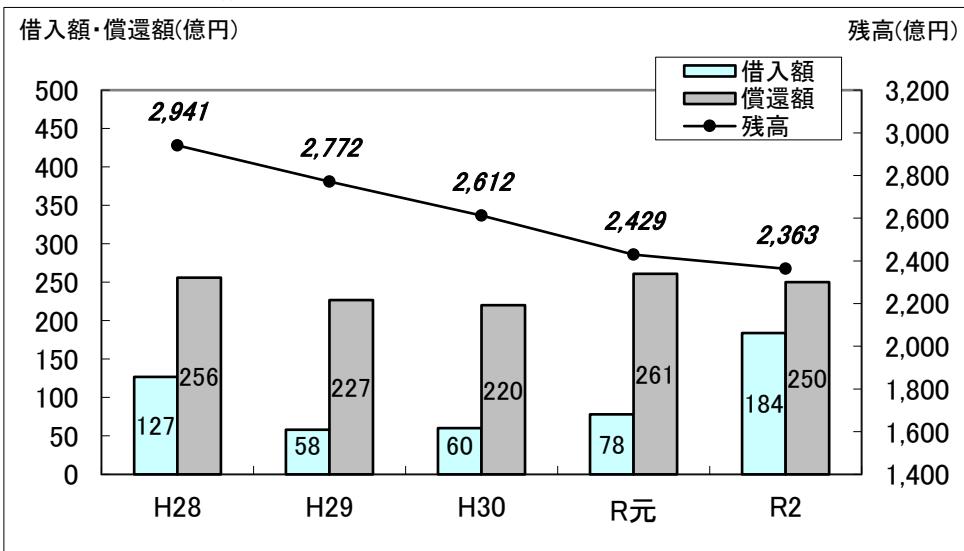
(1) 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



(2) 経常収支及び累積欠損金(税抜)



(3) 企業債(借入額・償還額・残高)



(4) 資金の状況

